

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称	会計事務費（金融機関検査事務）							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	会計 課 出納				係	課長名	川口莊一	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行政運営の実現						総合計画書 (ページ)	122	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 指定金融機関及び収納代理金融機関（以下「金融機関等」とする。）の取りまとめ店			①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 検査を実施すべき金融機関等の数 →				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。【簡潔に】 市内・市外も含めた金融機関等の取りまとめ店の金融機関検査			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 検査を実施すべき金融機関等の数 →				
	③ そのために何をしましたか。 適正な公金の収納手続が行われているかについて検査を行う。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 検査を実施した金融機関等のうち、適正な公金収納手続が行われていた金融機関等の数 →				
	2 指標の推移		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標
3 経費	対象指標	①の数値	件	18	18	18		
	成果指標	②の数値	件	8.0	8.0	8.0		
	目標	②の目標値						
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 現在検査を行なっていない金融機関等の検査方法を検討しているため、目標設定は難しい。							
4 課題	活動指標	③の数値	件	8	8	8		
5 今後の方向性	事業費（実績） 円 0 0 0							
	財源	一般財源	円				※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	特定財源	円						
	(うち受益者負担)	円						
	人件費（再任用以外）	人	0.1	0.1	0.1			
	所要人数（再任用）	人						
	職員人件費（再任用以外）	円	825,300	824,400	831,000			
	職員人件費（再任用）	円						
	事業費+人件費	円	825,300	824,400	831,000			
	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く 地方自治法施行令及び会計事務規則の規定に基づき、金融機関等の収納手続について検査を行っている。							
	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く 市内に取りまとめ店のない金融機関等に対して、同様の検査が実施できるのか検討を要する。							